

# 出版コンテンツのデジタル化 現状と可能性

日本出版販売株式会社

経営戦略室

小幡 祥文

亀井 理恵子

# 1. 電子書籍市場と出版業界におけるコンテンツのデジタル化

## (1) 電子書籍市場の推移

2007年度の電子書籍市場規模 355億円（前年度比約2倍）

### ◎デバイス内訳

●携帯向け 283億円（前年度比2.1倍）

●PC向け 72億円（前年度とほぼ同じ）

携帯シェアが80%

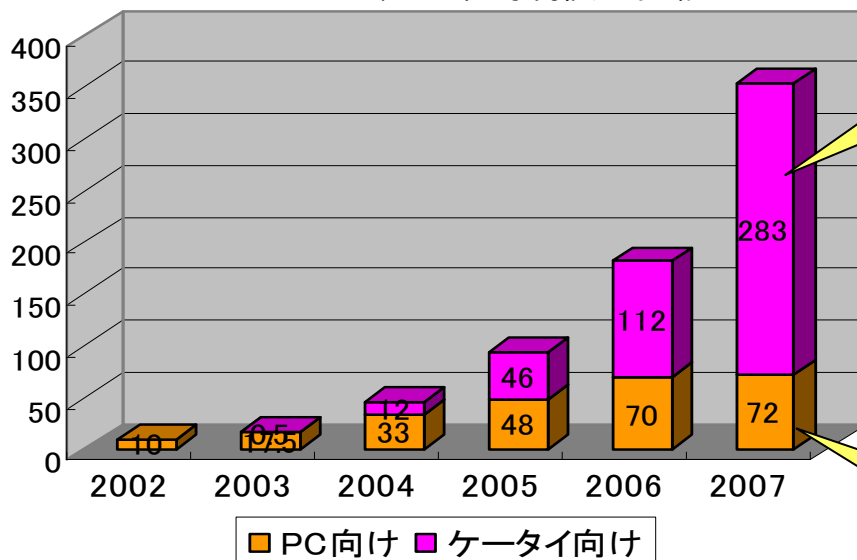
### ◎ジャンル内訳

●コミック 255億円（前年度比2.4倍）

●読み物/写真集 100億円（前年度比1.3倍）

コミックシェアが70%

電子書籍の市場規模の推移



《ケータイ内訳》

コミック : 229億(81%)

読み物/写真集 : 54億(19%)

■ケータイコミック市場

◎6~7割が女性

◎10~20代が中心

◎ポースラブ・ティーンズラブ・青年コミック  
ジャンルが市場を牽引

《PC内訳》

コミック : 26億(36%)

読み物/写真集 : 46億(64%)

出典：2008/7/11 インプレスR&D調査

## (2) 電子書店パピレス

### 電子書籍のダウンロード販売サービスを行う国内最大の電子書店

- 沿革 1995.11 パソコン通信上で「電子書店パピレス」開始  
 1996.12 インターネットサイト「電子書店パピレス」開始  
 2003.10 au(KDDI)で携帯電話専用サイトを開始  
 2004.2 NTTドコモ、2004.4 ソフトバンク(旧vodafone)でのサイトを開始
- タイトル数 90,000超 (2008年10月現在)  
 取引出版社数 450社(2008年10月現在)  
 ジャンル 小説・ノンフィクション／趣味・生活・雑誌／ビジネス・教育／漫画／写真集／壁紙・ゲーム



パソコンサイト トップ <http://www.papy.co.jp/>

2005年  
 ~  
 2007年  
 の伸びは  
**700%**  
 (販売冊数  
 ベース)



ケータイサイト トップ

## 2. 大学図書館デジタル教材配信への雑感

### (1) 各者のメリット・デメリット

	メリット	デメリット(懸念)
教員	<ul style="list-style-type: none"><li>・デジタル教材により教材作成負担を軽減</li><li>・高価な専門書を学生にデジタル頒布できる</li></ul>	
学生、研究者	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材へのアクセスのしやすさ (ライフスタイル、学習スタイルの変化により、デジタル出版物のニーズが高まっている)</li><li>・一度に複数のユーザが利用できる</li><li>・いつでもどこでも</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報リテラシーの成熟度の格差(媒体としての「紙」の手軽さが逆にメリットになる)</li></ul>
大学図書館	<ul style="list-style-type: none"><li>・ユーザのデジタルニーズに応じることにより、図書館の利用価値を高める</li><li>・一番使う本を複数人に提供できる</li><li>・書架スペースの節約(いらなくなる)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・仕入れ、管理コストの負荷?</li></ul>
出版社	<ul style="list-style-type: none"><li>・重版を電子出版し、重版リスクをカバー</li><li>・在庫リスクが減る</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・紙の書籍の売上が減る(意識)</li><li>・著作権者への許諾、印税支払の負荷</li></ul>
書店 (生協、書店外商部)		<ul style="list-style-type: none"><li>・紙の本の売上が減る?</li></ul>

## **(2) 課題**

### **① デジタル化のターゲット**

#### **● どういうコンテンツが必要か**

**\* 教科書としては現役だが絶版の書籍、図書館に1冊しかない書籍**

**→ 流通停止状態＝デジタル化のターゲットになる**

**→ デジタル化によるコンテンツの掘り起こし**

**※収益性の検証、確立が最大の課題**

### **② 出版社との交渉（電子利用許諾、支払条件）**

#### **● 出版社への条件の設定、提示をどうするか**

**\* 電子版の価格設定、課金、料率、配布方法、貸し出し制限など**

**→ 出版社のメリットを考えての提案が必要**

**⇔紙の本が売れることが最大利益と考える出版社が多い**

#### **● 出版社の著者許諾、電子化にかかる作業負荷の問題**